



新クルーズ学

また瀬戸内海に新しい大型フェリーが登場しました。船名は「フェリーきょうと」で、運航する約9倍あります。

この船は「フェリーきょうとII」の代替船として、三菱造船によって大阪の造船所で建造されました。船は15年で減価償却が終わるので、船齢20年くらいで新しい船に変わるのが普通で、この船もちょうどその船齢で交代ですので、順調な経

費で、大阪南港と新門司港の間を13時間弱で結びます。大阪駅のプラットフォームの長さに近い巨大な建造物が、時速

大阪南港に入港する「フェリーきょうと」



フェリーきょうとIIが登場

「フェリーきょうとII」の披露に出席して、船内を見せられました。夕ラップから乗り込むと、

に就航する姉妹船「フェリーふくおか」は「ベイサイドシティのきらめき」とまた違った雰囲気なので、かなり大きなものになったようです。

船内の新型コロナウィルス対策は万全で、日本のフェリーの定番だった大部屋は姿を消して、全個室またはベッド室にグレードアップされています。1人旅に便利な個室もあります。パブリックスペースとしては、展望レストラン、展望ラウンジ、インサイドプロムナード、テレビラウンジ、キッズルーム、そしてパウダールーム・授乳室も用意されています。

そこは2層吹き抜けのロビーで広い階段で上下の階が結ばれていました。内装のコンセプトは「古都のたたずまい」でシックな装いでしたが、3月1万6千ポットのエンジンで、そこから排出されるガスをきれいにするスクラバーという清浄装置が煙突に組み込まれているので、かなり大きなものになったようです。

また昨年12月に、大阪南港のフェリー埠頭での

ワンナイトクルーズの旅

「フェリーきょうと」での快適なワンナイトクルーズをお楽しみください。